

清水建設、1.5 万名の DX 基盤に「テックタッチ」を採用

主要 6 システムに展開し、問い合わせ対応工数の削減と
標準機能の活用・定着を目指す

AI 型デジタルアダプションプラットフォーム(DAP)国内シェア No.1 の「テックタッチ」を開発・提供するテックタッチ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 CEO:井無田 伸、以下 テックタッチ社)、および販売パートナーである株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大塚 辰男、以下 アシスト)は、清水建設株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:新村 達也、以下 清水建設)が、全社の DX 基盤として「**テックタッチ**」を採用したことをお知らせいたします。

本導入の目的は、清水建設が独自開発した原価管理システムを含む主要 6 つの業務システムにおいて、操作に関する問い合わせ工数を削減することです。また約 1.5 万名のシステム利用者が「テックタッチ」による操作ガイドやナビゲーション機能で業務システムを効率的に利用することで、デジタル活用の促進と生産性向上を図ります。



■導入の背景

時間外労働の上限規制が適用された「ポスト 2024 年問題」以降、建設業界では業務効率化と生産性向上が重要な経営課題となっています。清水建設においても、若手からベテランまで約 1.5 万人の全システム利用者が高度な ICT を自在に使いこなせる環境を整備し、現場と管理部門の事務負担を軽減することが、持続可能な建設体制を築く上での最優先事項となっていました。

同社では、SaaS の利用ではカスタマイズを最小限に抑えながら標準機能を活用する「Fit to Standard」の方針を掲げています。一方で、現場実務とシステム操作ルールの乖離による「デジタルの定着」が DX 推進の大きな壁となっており、アシストに課題を相談し、その解決策として「テックタッチ」が採用されました。

■導入の決め手

既存システムを改修せずに操作画面上に直接操作ガイドを表示できる「テックタッチ」は、同社の「Fit to Standard」戦略と極めて親和性が高いと評価されました。また、300 以上の社内システムの利用状況を定量的に可視化し、現場の「つまずき」を特定して継続的な改善へつなげることができる高度なデータ分析機能も重要な選定ポイントとなりました。

また、ノーコードで直感的に操作ガイドを作成できる高い操作性と、大手企業への豊富な導入実績に基づく手厚いサポート体制も評価され、DX 基盤としての採用が決定しました。

■期待される効果と今後の展開

現在は主要 6 システムへの導入を先行して進めていますが、今後は、プラットフォームとして自社開発、SaaS アプリケーションを問わず全ての業務システムへ展開することを視野に入れていきます。本導入により、問い合わせ対応工数の削減と、現場および管理部門双方の事務負担の大幅な軽減が期待されています。

IT リテラシーに関わらず誰もが高度な ICT ツールや新システムを使いこなせる「Fit to People」な環境を構築し、全社 DX の底上げを図ります。さらに、操作ログ分析機能を活用し、現場の声を迅速にシステム改修や業務フローへ反映させる改善サイクルを確立し、持続的な生産性向上を実現していきます。

■清水建設株式会社 DX 経営推進室 副室長 兼 基盤システム部長 室井 俊一様のコメント

建設現場の収支を支える原価管理システムをはじめとする主要な業務システムにおいて、いかに操作上の迷いをなくし、システムが持っている機能を使いこなし、全社的な DX を加速させるかが課題でした。「テックタッチ」を導入したことで、システム改修に頼らずとも、ユーザーがスムーズに操作できる環境を構築できました。今後は、可視化された利活用状況に基づき、現場の声を反映させた継続的な改善サイクルを回し、全社的な生産性向上につなげていきます。

■AI 型デジタルアダプションプラットフォーム(DAP)「テックタッチ」について

テックタッチ株式会社は、デジタルアダプションプラットフォーム(DAP)「テックタッチ」を提供し、国内シェア No.1 を誇ります。1,000 万人(2026 年 1 月時点)を超えるユーザーに利用され、大手企業や官公庁などに導入されています。「テックタッチ」は、ノーコードで操作ガイドを簡単に作成・実装できるため、システム担当者の負担を軽減し、ユーザーのスムーズなシステム利用を促進します。グッドデザイン賞、経済産業省が選ぶ J-Startup 認定など、受賞多数。AI 機能を強化した DAP の開発に注力する他、意思決定 AI エージェント「AI Central Voice」の提供を開始し、あらゆる企業の IT 活用を支援しています。

<テックタッチで設定したナビゲーションの例>

<https://youtu.be/ANlhdR2MJo4>



■テックタッチ株式会社 会社概要

会社名	: テックタッチ株式会社
設立	: 2018 年 3 月 1 日
代表取締役 CEO	: 井無田 伸
所在地	: 〒104-0061 東京都中央区銀座 8 丁目 17-1 PMO 銀座 II 5F
事業内容	: デジタルアダプションプラットフォーム「テックタッチ」およびデータ戦略 AI エージェント「AI Central Voice」の開発・提供
URL	: https://techtouch.jp/
メディア URL	: https://techtouch.jp/media/

■株式会社アシスト 会社概要

アシストは、特定のハードウェアメーカーやソフトウェアベンダーに偏らず、幅広いソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを支援します。情報活用、運用、データベースの各分野に加え、近年では生成 AI やナレッジ活用などの新たな領域にも対応を拡充しています。顧客企業における DX 推進に貢献すべく、2020 年 10 月より、システムの活用度・定着度を高め、導入効果の最大化を実現する製品として「テックタッチ」の取り扱いを開始しています。

会社名 : 株式会社アシスト
設立 : 1972 年 3 月
代表取締役社長 : 大塚 辰男
所在地 : 〒102-8109 東京都千代田区九段北 4-2-1 市ヶ谷スクエアビル
URL : <https://www.ashisuto.co.jp/>

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

<サービス導入に関するお問い合わせ>

テックタッチ株式会社 営業担当: 西野

URL: <https://techtouch.jp/contact>

<取材のお問い合わせ>

テックタッチ株式会社 広報担当: 中釜・後藤・藤岡

pr@techtouch.co.jp

株式会社アシスト 広報担当: 曾根原・林・吉田

TEL: 03-5276-5850

URL: https://www.ashisuto.co.jp/corporate/press_room/

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ プレスリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

※ 本発表は、テックタッチ株式会社、株式会社アシストの共同リリースです。両社から重複してお手元に届く場合がございますが、あらかじめご了承ください。